



Neue Musik und Geschichte

- Hans Zender im Gespräch über Musik der Postmoderne

## 現代音楽と歴史

——ハンス・ツェンダー、

ポストモダンの音楽を語る

ドイツ作曲界の重鎮で、指揮者としても古典や現代に名演を残してきたハンス・ツェンダー氏が、読売日本交響楽団の委嘱で新作を世界初演するために来日されます（《「般若心經」——バリトンとオーケストラのための》、10月27日、サントリーホール）。この機会に、氏のこれまでの活動を創作・指揮の両面にわたってうかがおうと思います。現代の作曲についての深い見識に基づいたお話になりますので、ぜひご来場ください。

日時：2012年10月24日（水）午後6時30分～

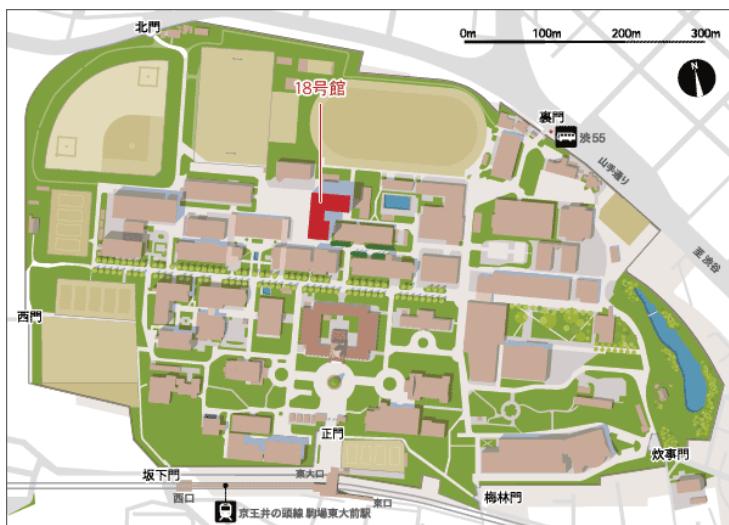
場所：東京大学駒場キャンパス 18号館ホール

講師：ハンス・ツェンダー

※いつもの例会会場と異なりますのでご注意ください

聞き手：長木 誠司（東京大学 / 日本アルバン・ベルク協会専務理事）

通訳：ヘルマン・ゴチエフスキ（東京大学） 入場無料



東京大学駒場キャンパス 18号館  
(京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩3分)

*Alban Berg*

日本アルバン・ベルク協会

Tel / Fax: 03-5228-1835  
aberggj1985@mb.infoweb.ne.jp  
www.albanberg.jp

共同主催：日本アルバン・ベルク協会 / 日本学術振興会科学研究費（基盤研究B）  
「科学の知と文学・芸術の想像力—ドイツ語圏世紀転換期の文化についての総合的研究」